

代表・一般質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

している条例に明記していく。
その後、平成29年度中に集合住宅全般の条例改正を予定しており、さらなる加入義務の強化策の可能性を検討していく。

学校のさらなる利活用の検討を

【問】地域コミュニティの醸成と災害対策上の観点から学校の利用について見直し、また、今後の学校建設時には、余剰教室や住区センターを補完する機能、乳幼児教育に資する施設も検討すべきと考えるがどうか。

【学校教育】

学校を中核施設として利用することは、地域と一体となつて子どもたちを育むことにつながると思っております。

今後の学校建設では、可能な範囲内で地域コミュニティの醸成に資する施設としていきたい。

東部地域の都市整備と貧困

対策元年、今こそ子供達へ

自由民主党 伊藤 のぶゆき 議員



綾瀬エリアデザインにバンケットホール付きホテルの誘致を

【問】最初に策定された綾瀬エリアデザインには、結婚式場・宴会場・ホテルを立地と書いてあるが、今の綾瀬地域にはどれも無い。区民が集う場所として繁栄していけるよう、綾瀬エリアデザインにバンケット付きホテル等の誘致を積極的に検討すべきと考えるがどうか。

【資産管理】

綾瀬エリアデザインの見直しの中で、要望にある地域住民が集える施設の誘致を検討していく。

水辺の街としてアピールせよ

【問】区はビューティフル・ウォーターの街としてアピールせよ

地域コミュニティとの協働による認知症対策を

【問】今後、増加が予想される認知症対策は、地域コミュニティとの協働なしには解決できない。認知症サポーターとの制度の構築が必要ではないか。

【福祉】

絆のあんしん協力員等と連携した仕組みづくりが必要である。認知症に対する理解及び予防啓発のため、今後も地域と協働して取り組んでいく。



インドウズ運動で一定の成果をあげており、きれいな街は犯罪が減るのも実証済みである。河川にも柵を掛け、花畑川を積極的に清掃し、今ある橋の近くだけではなく、護岸全体に散策路を設置し、新しく水辺の街としてアピールしていくべきと考えらるがどうか。

【道路整備】

花畑川の清掃については、状況を見ながら清掃回数を増やす等、積極的に取り組んでいく。

【問】

就学前の乳幼児に対し、絵本の購入費を助成すべきである。場所は住区センターを活用

して育児の孤立を防ぎ、絵本に区のスタンプを押して目にするにより、区への愛着心を育む施策となる。親がいつでも子どもに読み聞かせができる環境をつくり、将来の区を担う子どもたちへの投資、全国で初のモデルケースとして絵本の購入費助成に取り組むべきがどうか

足立区議会公明党

生活・健康施策の充実と安心・安全な足立目指して

公明党 前野 和 男 議員



東京女子医科大学東医療センターの移転にあたって

【問】①基金設置の進捗状況はどうか。

②病院の規模や機能、診療科目、開設時期等、大学との調整はどのように進めていくのか。

③病院に関連する施設の誘致や整備も重要だがどうか。

④医師会等の意見をいただきながら地域医療全体の構想を検討すべきだがどうか。

【政策経営】

①基金の条例制定に向け調整を行っている。移転のスケジュールを踏まえ、適切な時期に議会に提案していく。

②平成28年度早期に移転場所が確定できるよう調整を行い、整備基本方針を定め、年度内に、病院の規模や機能等を内容とした覚書を取り交わす予定である。



と考える。区では平成27年4月から、絵本2冊をプレゼントする「あだちはじめてえほん事業」を実施している。絵本の購入費の助成制度については、研究課題とさせていただく。

冊子にまとめるはどうか。

②距離標や電灯等配置のユニバーサル計画を策定し、コースを整備すべきだがどうか。

③障がい者スポーツの理解と促進のため、大会誘致と体験教室等の開催をすべきだがどうか。

【地域】

①冊子での紹介は、今後も設定される多くのコースへの対応が難しいため、ホームページで紹介すると同時にコース別のチラシを作成する。

②区のユニバーサルデザイン推進計画の趣旨を踏まえ検討するが、当面はチラシに距離情報や夜間照明の情報を掲載していく。

③平成27年も7月にゴールポールの大会と体験教室を行った。今後も大会・体験教室を通じて理解と促進を進めていく。

自身に適したサービスを利用し

【問】①障がいのある方への相談支援体制にかかわる人材不足は深刻である。区独自で相談支援従事者の研修を実施すべきだがどうか。相談支援事業所の拡大の見直しとあわせて伺う。

②総合的視点からサービス等利用計画の作成が大切である。関係機関等との連携体制はどうか。

③災害時の放送局開設には、職員の育成やメディア経験者等の掌握が必要だがどうか。

【危機管理】

①防災行政無線デジタル化等の計画策定の中で、検討に加えていく。



ことで計画的に増員していく。

②サービス等利用計画を作成後、関係機関を交えての「サービス担当者会議」を開催し、連携して取り組んでいる。

切れ目のない産前産後の支援を

【問】①妊娠届出時のアンケート内容から支援が必要と判断した場合、各保健総合センターにつなぐ仕組みが始まる。母子保健コーディネーターの人員確保の見直しはどうか。

②必要な支援が正確に伝わるよう「(仮称)エンジェルシート」を作成し、つなぐ仕組み作りをしてはどうか。

【衛生】

①可能な限り経験豊かな保健師の配置を行えるよう部内調整を行っていく。

②つなぐシートのように認知度が高まることも必要と考えているため、参考にさせていただく。

多様な要望を叶える整備を

【問】①都立中川公園の整備では、各種団体の意見を集約する機会を設けるとともに、若者の意見も聞くべきだがどうか。

②公園整備のスケジュールはどのように考えているのか。

【都市建設】

①整備検討協議会でアンケート調査やスポーツ団体と小・中学校の子どもたちの声を参考にすることを同意いただいた。要望を把握した上で、整備に反映させていく。

②平成29年度以降に設計業務に着手する。全体の完成予定時期は、工事着手から覆がい整備におおむね10年、全面開園にはその後数年を要すると聞いている。

奨学金制度の拡充を図れ

【問】区育英資金貸付制度は、より利用・返済しやすくすべき